

都市再生整備計画 事後評価シート
志摩地区

平成31年3月

福岡県糸島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	糸島市		地区名	志摩地区		面積	5,455ha		
交付期間	平成26～27年度		事後評価実施時期	平成31年3月		交付対象事業費	69.2百万円		国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(平松1号線)、地域生活基盤施設(志摩地区サイン整備)、高質空間形成施設(幣の浜広場内トイレ)									
		提案事業	まちづくり活動推進事業(海の祭典開催事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	災害用物資備蓄倉庫	自然災害や原子力災害等が発生した際、必要な災害用物資を常時備蓄することにより、人が集まりやすい、安全安心なまちづくりを図る								
		提案事業										
交付期間の変更	当初	平成26～27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	観光入込客数	千人/年	4,500	H24	4,600	H27		6,137	○	あり なし	サイン整備、トイレ整備、道路整備等、観光関連整備を着実に実施することにより、観光入込客数の増につながった。
指標2	糸島市観光協会HPアクセス数	PV/年	2,020,000	H24	2,200,000	H27		2,726,803	○	あり なし	観光関連整備に加え、ブランド推進や定住促進等各種取り組みの実施による相乗効果の結果、糸島市観光協会HPのアクセス増につながった。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた									
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた									
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

志摩地区(福岡県糸島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

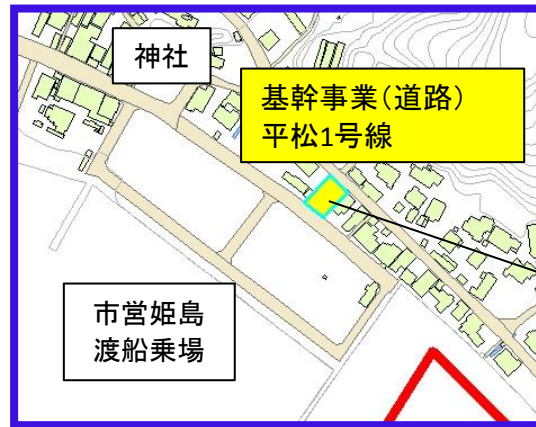
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
【大目標】 市内にある多彩な観光資源と最新の観光需要を結びつけながら、観光客が安心して観光できる観光基盤の整備を進め、多様で魅力ある観光振興をめざす。 目標1 観光施設への道路整備を行うことにより、交通アクセス条件や安全性、歩行者の快適性の向上を図る。 目標2 観光資源の活用や魅力向上のため、観光地への誘導や情報発信、観光施設を整備する。また、観光客を受け入れる側である地域住民の住環境を向上させることにより定住を促進し、観光客基盤整備の促進や交流人口の拡大を図る。	観光入込客数	単位:千人/年	4,500 H24	4,600 H27	6,137 H27
	糸島市観光協会HPアクセス数	単位:PV/年	2,020,000 H24	2,200,000 H27	2,726,803 H27

基幹事業(高質空間形成施設) 観光施設等整備事業

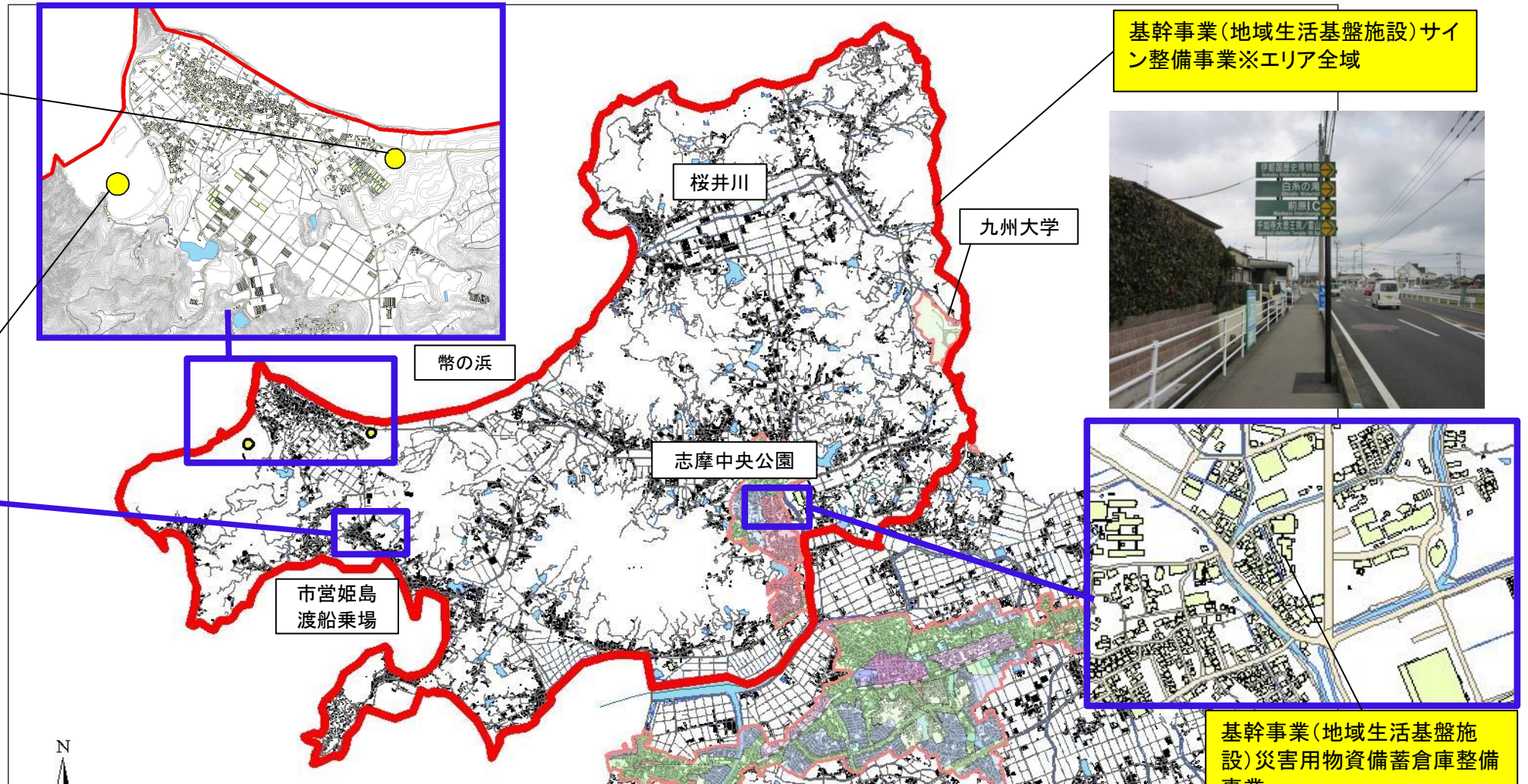


提案事業(まちづくり活動推進事業) 海の祭典開催事業

基幹事業(地域生活基盤施設)サイン整備事業※エリア全域



基幹事業(道路) 平松1号線



基幹事業(地域生活基盤施設)災害用物資備蓄倉庫整備事業

まちの課題の変化	【達成されたこと】 ■平松1号線整備では、狭小アクセス接続道路を別ルートから接続することで、スムーズな車両の通行が可能となった。 ■幣の浜にバリアフリーのトイレを新設し、おもてなし施設として観光客の受け入れ環境を整備することができた。 ■サイン整備により、市内に点在する観光スポット間をスムーズに回遊させることができるようになった。 【残された未解決の課題】 ■観光地に設置した公衆トイレのうち、非水洗化・和式のみ・バリアフリー非対応のトイレが複数あり、計画的な改修が必要である。 【新たに発生した課題】 ■観光客が増加・多様化する中で、糸島の観光の質や魅力を高め、更なる観光誘客、観光満足度を高めるため、マーケティング(現状把握、ニーズ調査)を導入した観光戦略を立案し、観光事業のマネジメント(調整等)を核となって担う組織が必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	■観光客が周遊しやすいよう、サイン等整備は第三者的視点で行う。 ■道路整備に当たっては、関係各課で連携し、通行者の利便性向上が図れるよう検討していく。 ■インバウンドの強化策として、本市を訪れる外国人観光客の動向を分析した上で、効果的な誘客プロモーションに取り組む。 ■イベントの開催や体験型観光などと連動し、複数観光スポットの周遊を誘導し、滞在時間の延長・観光消費額の増加を図る。 ■糸島市観光協会を核とした糸島市DMOを設立し、マーケティングによる分析を行いながら、DMOの運営財源となる収益性の高い事業を確立し、事業者や関係者などの仕事づくりや所得向上を目指す。